



SAP Ariba 

機能の概要

ERP システムでキャンセルされた承認済みの請求書を SAP Ariba Buying and Invoicing でも自動的に却下

Johan Holm、ソリューション管理ディレクタ、SAP P&E

一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

導入の難易度  やや複雑
対象エリア  グローバル

説明: ERP システムでキャンセルされた承認済みの請求書を SAP Ariba Buying and Invoicing でも自動的に却下

今までの課題

これまでは、承認が完了した請求書が ERP システムでキャンセルされている場合、この変更を反映するには、[請求書管理者] または [顧客管理者] グループのメンバーが、SAP Ariba Buying and Invoicing で、[強制却下] ボタンを使用してその請求書を手動で却下するしかありませんでした。

SAP Ariba で問題解決

SAP Ariba Buying and Invoicing で請求書の状況が [支払処理中] であるときに、バイヤーが ERP システムで請求書をキャンセルした場合、SAP Ariba での状況が自動的に [却下済み] に更新されるようにして、請求書の状況の同期を維持することができます。

SAP Ariba Invoice Management では、この機能が 2018 年 4 月からサポートされています。

主なメリット

このたび、請求書が ERP でキャンセルされた場合、SAP Ariba Buying and Invoicing の請求書に状況の変更が自動的に反映されるようになりました。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying and Invoicing
- SAP Ariba Invoice Management では、この機能が 2018 年 4 月からサポートされています

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

前提条件と制限事項

- 完全または部分的に支払われた請求書をこの機能で却下することはできません。
- この機能では、終了した注文書に対する請求書の却下はサポートされますが、却下しても終了した注文書は自動的に再開されません。
注: 上記とは対照的に、終了した契約に対する請求書を却下した場合は、契約が再開されます。

機能の概要

概要: ERP システムでキャンセルされた承認済みの請求書を SAP Ariba Buying and Invoicing でも自動的に却下

この機能を使用すると、ERP で請求書がキャンセルされた場合に、SAP Ariba Buying and Invoicing で請求書を手動で強制却下する必要がなくなります。

- 新しい受信 Web サービスである [外部システムからの請求書照合状況] を設定して、ERP システムから状況の更新を自動的に受信することができます。
- 新しい Web サービス要求により、ERP システムから状況の更新を受信すると、SAP Ariba Buying and Invoicing で請求書照合の状況が [却下済み] に変わります。
- 完全または部分的に支払われた請求書をこの Web サービス要求で却下することはできません。
- この Web サービス要求では、終了した注文書に対する請求書の却下はサポートされますが、却下しても終了した注文書は自動的に再開されません。ただし、請求書が終了した契約に対するものである場合は、この機能によって関連する契約累計が更新され、かつ、契約を自動的に再開できます。

